

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成28年11月4日(2016.11.4)

【公表番号】特表2015-527408(P2015-527408A)

【公表日】平成27年9月17日(2015.9.17)

【年通号数】公開・登録公報2015-058

【出願番号】特願2015-531321(P2015-531321)

【国際特許分類】

A 6 1 K	31/19	(2006.01)
A 6 1 K	31/711	(2006.01)
A 6 1 P	21/00	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
A 6 1 P	3/00	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	31/19	
A 6 1 K	31/711	
A 6 1 P	21/00	
A 6 1 P	43/00	1 7 1
A 6 1 P	3/00	1 7 1

【手続補正書】

【提出日】平成28年9月9日(2016.9.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

約0.5gから約30gの-ヒドロキシ--メチル酪酸(HMB)および約10mgから約80gのアデノシン三リン酸(ATP)を含む組成物。

【請求項2】

動物に、強度の向上、パワーの向上、筋肉量の増加、および過負荷の成績特性における衰退の軽減から選択される利益を提供するための、HMBおよびATPを含む組成物。

【請求項3】

約0.5から約30gのHMBおよび約10mgから約80gのATPを含む、請求項2の組成物。

【請求項4】

前記HMBがHMBの遊離酸である、請求項2または3の組成物。

【請求項5】

前記HMBが塩である、請求項2または3の組成物。

【請求項6】

投与経路が経口、非経口、舌下、局所、経皮、筋内および吸入からなる群より選択される、請求項2~5のいずれか一項の組成物。

【請求項7】

前記経口投与における送達形態が、錠剤、カプセル、粉末、顆粒、微粒剤、小丸薬、軟質ゲル、制御放出形態、液体、溶液、エリキシリ剤、シロップ、懸濁液、乳剤および泥膏からなる群より選択される、請求項6の組成物。

【請求項8】

動物の強度を向上させるための、HMBおよびATPを含む組成物。

【請求項 9】

動物のパワーを向上させるための、HMBおよびATPを含む組成物。

【請求項 10】

動物の筋肉量を増加させるための、HMBおよびATPを含む組成物。

【請求項 11】

動物の過負荷の成績特性における衰退を軽減するための、HMBおよびATPを含む組成物。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

[20]本発明は、これまでに見つかった課題を克服することを意図している。このために、HMBとATPを含有する組成物を提供する。この組成物は、それを必要とする動物に投与される。全ての方法は、動物にHMBおよびATPを投与することを含んでいる。

本明細書は以下の発明の開示を包含する：

(1) 約0.5gから約30gの-ヒドロキシ--メチル酪酸(HMB)および約10mgから約80gのアデノシン三リン酸(ATP)を含む組成物。

(2) 有効量のHMBおよびATPを含む組成物を動物に投与することによって、それを必要とする前記動物に、強度の向上、パワーの向上、筋肉量の増加、および過負荷の成績特性における衰退の軽減から選択される利益を提供するための方法。

(3) 投与される前記HMBの量が約0.5から約30gであり、かつ、投与される前記ATPの量が約10mgから約80gのATPである、(2)の方法。

(4) 投与される前記HMBがHMB酸である、(2)の方法。

(5) 投与される前記HMBが塩である、(2)の方法。

(6) 投与工程が経口、非経口、舌下、局所、経皮、筋内および吸入からなる群より選択される、(2)の方法。

(7) 前記経口投与が、錠剤、カプセル、粉末、顆粒、微粒剤、小丸薬、軟質ゲル、制御放出形態、液体、溶液、エリキシリル剤、シロップ、懸濁液、乳剤および泥膏からなる群より選択される送達形態を含む、(6)の方法。

(8) 強度を向上させるのに十分な量のHMBおよびATPを動物に投与する工程を含む、それを必要とする前記動物の強度を向上させるための方法であって、HMBおよびATPの前記動物への前記投与の後に前記強度が向上する、方法。

(9) パワーを向上させるのに十分な量のHMBおよびATPを動物に投与する工程を含む、それを必要とする前記動物のパワーを向上させるための方法であって、HMBおよびATPの前記動物への前記投与の後に前記パワーが向上する、方法。

(10) 筋肉量を増加させるのに十分な量のHMBおよびATPを動物に投与する工程を含む、それを必要とする前記動物の筋肉量を増加させるための方法であって、HMBおよびATPの前記動物への前記投与の後に前記筋肉量が増加する、方法。

(11) 成績の衰退を軽減するのに十分な量のHMBおよびATPを動物に投与する工程を含む、それを必要とする前記動物の過負荷の成績特性における前記衰退を軽減するための方法であって、HMBおよびATPの前記動物への前記投与の後に成績の前記衰退が軽減される、方法。